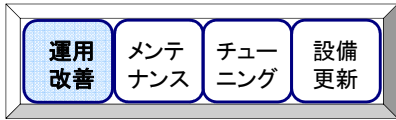


陳列方法の見直し



- 商品等の陳列方法を見直すことで、冷気吸込口への正常な冷気流路が確保されて節電になります。
(冷気吸込口の閉塞が改善されることで冷凍機の消費電力(kW)が下がります)

試算例

商品の陳列方法の見直しをすると...
(売場面積2,000m²相当のスーパーの事例)

■ 節電効果 : **節電効果 6万円/年** 【業務用電力単価を適用】
節電電力 約 1kW
節電電力量 約 3,600kWh

■ 対策内容 : 山積み箇所の改善(青果・和日配用14台分)

■ 計算式 : 節電電力(kW) = 消費電力(対象設備分) × 負荷率 × 削減効果
 節電電力量(kWh) = 節電電力 × 対象時間 × 対象日数

(試算条件)

消費電力(対象設備分): 25kW [ショーケース用冷凍機]
 負荷率: 40% (仮定)
 削減効果: 10%
 対象時間: 10時間/日 (10:00~20:00)
 対象日数: 365日/年

ポイント

■ 冷気吸込口を閉塞する要因として、①商品陳列(山積み)、②値札などがあります。

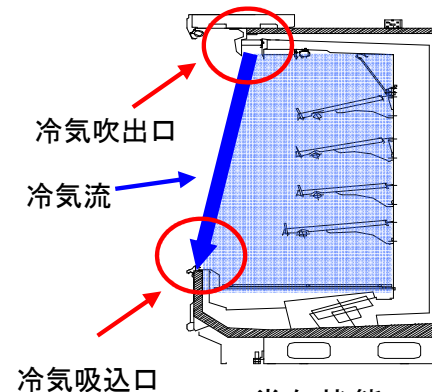
参考



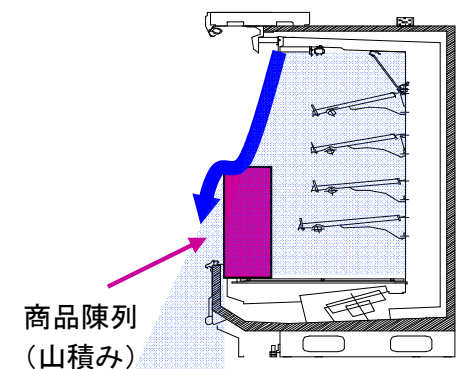
商品陳列(山積み)による
冷気吸込口閉塞



値札による冷気吸込口閉塞



正常な状態



冷気吸込口閉塞状態